



じしん はっせい
地震が発生したときは

●日本は地震が多いです。

兵庫県は 1995 年にとても大きな地震がありました (阪神淡路大震災)。

姫路市でも大きな地震が起こるかもしれません。

十分な準備をしてください。

●いつも準備ができていますか？

◇いつも知ってほしいこと。

- ・家の中でいちばん安全な場所はどこですか？
- ・家族とどうやって連絡しますか？どこで集まりますか？
- ・家から近い避難場所<逃げるところ>はどこですか？
- ・あなたの国の大使館の電話番号を知っていますか？

◇準備すること。

- ・逃げるときに持っていくかばんを用意してください。かばんの中に入れるものは、懐中電灯<手に持つことができる電灯>、タオル、手袋、メガネ、下着、飲み水、食べ物、薬、ラジオ、靴です。
- ・飲み水は1人1日3リットルいります。
- ・背の高い家具は倒れないようにしてください。
- ・窓や棚のガラスは割れることがあります。割れたガラスは危ないです。フィルムをはってください。
- ・消火器<火を消す道具>がいます。
- ・風呂の湯は捨てないでください。火事の火を消すことができます。

●地震が起こったときにすること。

- ・テーブルの下に逃げてください。体を守ってください。
- ・地震が止まったあとで火を消してください。
- ・上から物が落ちてくるかもしれません。頭を守ってください。
- ・ドアや窓を開けてください。そこから逃げるができます。
- ・割れたガラスをふむと危ないです。くつやスリッパをはいてください。
- ・大きな地震が止まったあとも注意してください。余震<つづいて起こる地震>



じしん はっせい
地震が発生したときは

が起こるときがあります。

・正しいお知らせをまってください。あわてないでください。

地震のときはテレビやラジオをつけてください。地震についてお知らせがあります。市役所や近所の人の話を聞いてください。大使館に電話してください。正しい話を聞いてください。近くの小学校やコミュニティセンターへ行ってください。地震についてお知らせがあります。

●逃げるときに注意すること。

- ・パスポートや在留カード<日本にいたためのカード>の大切なものはいつも持ってください。
- ・荷物は小さくしてください。
- ・じょうぶなくつをはいてください。
- ・家にはない家族にあなたが逃げるところを書いて家に置いてください。
- ・歩いて逃げてください。
- ・けがをしている人はみんなで助けてください。

●家族は安全ですか？

地震のあとは電話はかかりません。

災害伝言ダイヤル171で家族と連絡ができます。どう使うか今からおぼえてください。